

本陣四季彩々～春の段～
「草津宿本陣のひなまつり」



日々花開く盆梅に、梅や桜を描いた掛軸、さらに桃の節句に合わせて、さまざまな雛人形を展示します。華やかな春の本陣をお楽しみください。

🕒 2月19日(土)～3月27日(日)

📍 史跡草津宿本陣 **¥** 入館料要

📞 史跡草津宿本陣(草津一) ☎️ FAX 561-6636



草津市役所: 〒525-8588
滋賀県草津市草津三丁目3番30号
編集発行: 草津市広報課



募集「くさつ・歴史発見塾」受講者

演題(仮)	講師
①草津宿田中七左衛門本陣における大名の休泊 ～佐土原藩島津家を素材として～	松本真実 (史跡草津宿本陣)
②老杉神社のエトエト ～五穀豊穡への祈り～	岡田裕美 (草津宿街道交流館)
③船奉行時代の芦浦観音寺	藤居朗 (歴史文化財課)
④江戸時代の村の古文書をよむ	富田由布子 (草津宿街道交流館)

🕒 ① 2月19日(土) ② 2月27日(日) ③ 3月5日(土) ④ 3月12日(土)
各10:30～11:30

📍 草津宿街道交流館 **定** 各30人(先着順)

¥ 各100円(資料代) **他** 手話通訳あり(2週間前までに申込要)

申 2月4日(金)～、直接か電話、ファクス、Eメールで

申・問 草津宿街道交流館(草津三) ☎️ 567-0030、FAX 567-0031

✉️ koryukan@city.kusatsu.lg.jp

KUSATSU
歴史ギャラリー

よこい きんこく おにげんしょう
横井金谷画「鬼玄象自画賛」

No.171

▶ 横井金谷画 紙本墨画淡彩「鬼玄象自画賛」
(草津市蔵・中神コレクション)



※画賛 絵の余白に書き添えた文章や詩歌のこと

蕪村の影響を受けた作品が多い中で、金谷自身が『今昔物語集』のような古典にも興味をもっていたことがうかがえる作品です。

突然消え失せてしまい、ある夜にその音色を聞いた源博雅が、音色を頼りに平安京を南へ南へと探し歩くと、羅城門へとたどり着きます。そこでは、楼上で鬼が玄象を弾いており、天皇が探し求めている玄象を探しに来たと伝えられると、鬼から玄象を返してもらったというものです。

御代、唐伝来の琵琶の名器「玄象」が鬼に盗まれ、突然消え失せてしまい、ある夜にその音色を聞いた源博雅が、音色を頼りに平安京を南へ南へと探し歩くと、羅城門へとたどり着きます。そこでは、楼上で鬼が玄象を弾いており、天皇が探し求めている玄象を探しに来たと伝えられると、鬼から玄象を返してもらったというものです。

さて、市が所蔵する中神コレクションの中から、鬼に因んだ作品を一つ紹介します。横井金谷の描く「鬼玄象自画賛」です。金谷は、江戸時代後期に活躍した画僧で、栗太郡下笠村(下笠町)に生まれ、与謝蕪村の影響を受けていることから「近江蕪村」とも呼ばれます。文化15(1818)年の年記のある「鬼玄象自画賛」は、『今昔物語集』巻第24の「玄象」という琵琶が鬼にとられた話を題材としたものです。画賛※には、次のような説話が綴られています。平安中期の村上天皇の御代、唐伝来の琵琶の名器「玄象」が鬼に盗まれ、突然消え失せてしまい、ある夜にその音色を聞いた源博雅が、音色を頼りに平安京を南へ南へと探し歩くと、羅城門へとたどり着きます。そこでは、楼上で鬼が玄象を弾いており、天皇が探し求めている玄象を探しに来たと伝えられると、鬼から玄象を返してもらったというものです。

さて、市が所蔵する中神コレクションの中から、鬼に因んだ作品を一つ紹介します。横井金谷の描く「鬼玄象自画賛」です。金谷は、江戸時代後期に活躍した画僧で、栗太郡下笠村(下笠町)に生まれ、与謝蕪村の影響を受けていることから「近江蕪村」とも呼ばれます。文化15(1818)年の年記のある「鬼玄象自画賛」は、『今昔物語集』巻第24の「玄象」という琵琶が鬼にとられた話を題材としたものです。画賛※には、次のような説話が綴られています。平安中期の村上天皇の御代、唐伝来の琵琶の名器「玄象」が鬼に盗まれ、突然消え失せてしまい、ある夜にその音色を聞いた源博雅が、音色を頼りに平安京を南へ南へと探し歩くと、羅城門へとたどり着きます。そこでは、楼上で鬼が玄象を弾いており、天皇が探し求めている玄象を探しに来たと伝えられると、鬼から玄象を返してもらったというものです。

さて、市が所蔵する中神コレクションの中から、鬼に因んだ作品を一つ紹介します。横井金谷の描く「鬼玄象自画賛」です。金谷は、江戸時代後期に活躍した画僧で、栗太郡下笠村(下笠町)に生まれ、与謝蕪村の影響を受けていることから「近江蕪村」とも呼ばれます。文化15(1818)年の年記のある「鬼玄象自画賛」は、『今昔物語集』巻第24の「玄象」という琵琶が鬼にとられた話を題材としたものです。画賛※には、次のような説話が綴られています。平安中期の村上天皇の御代、唐伝来の琵琶の名器「玄象」が鬼に盗まれ、突然消え失せてしまい、ある夜にその音色を聞いた源博雅が、音色を頼りに平安京を南へ南へと探し歩くと、羅城門へとたどり着きます。そこでは、楼上で鬼が玄象を弾いており、天皇が探し求めている玄象を探しに来たと伝えられると、鬼から玄象を返してもらったというものです。

1年の季節の変わり目、立春、立夏、立秋、立冬。その前日が季節を分ける節の日と設定されていました。現在は2月の立春の前日だけが「節分」として残っています。立春は春の始まりで、季節の変わり目に起こりやすい災難や病気を鬼に見立てて豆をまき、厄を払う風習が生まれました。

📍 草津宿街道交流館(草津三) ☎️ 567-0030、FAX 567-0031

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津 (FM78.5MHz) 「声の広報」



スマートフォン用アプリ

- マチイロ
- SideBooks (ちいき本棚)

草津市メール配信サービス

市の情報をメールで配信するサービス



市公式ソーシャルメディア!



イベントや市政情報、窓口の混雑状況、災害時の緊急情報などを配信!



くさつチャンネル

さまざまな動画を配信。びわ湖放送(BBC)で放送されている草津スケッチもこちらから!



市の花 アオバノ



市の木 キンモクセイ

12月31日現在(対前月比)

● 人口137,268人(-40)

● 男68,829人(-35)

● 世帯数61,430人(-42)

● 女68,439人(-5)

広報くさつは、市ホームページで公開しています。地域まちづくりセンターなどの市の公共施設や、JR草津駅・南草津駅・市内の滋賀銀行各支店、アル・プラザ草津、イオンスタイル草津、近鉄百貨店草津店にも置いてあります。